

# 新婦人しんぶん

## 新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもります。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせます。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます。

## 今週の紙面

- 2面 女性ニュース
- 3面 読者のページ/まんが/乱楽パズル
- 4面 コメ危機打開、学習決起集会/はたらくコラム/ホットライン
- 6面 食事情/子育て相談/時事
- 7面 新婦人のページ/主張/母の歴史



愛媛・宇和島市 加勢山敦子

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

# 白い砂粒の正体は マイクロプラスチック だった!



漂着物が比較的少なく、海水浴場でもある岩瀬浜(富山市)は清掃活動がとりにくれている。11月のこの日は、プラスチックのひもや袋、カップなどが見つかったが、肥料用のカプセルは見当たらなかった。右が広瀬さん



世界的に問題となっているプラスチックごみによる海洋汚染。班での学習会をきっかけに、海岸調査で目にした大量の白い粒をめぐるとりくみを新婦人富山県本部会長の広瀬妙子さんのレポートで。また、この問題の解決に向け動き出している宮城県の高校生による研究を紹介しします。

## ごみの9割がプラスチック

雄大な立山連峰を望む富山湾は、「世界で最も美しい湾」クラブに加盟しています。全国で唯一、水質環境基準の全項目を100%達成。新鮮で豊富な魚介類は県民の誇りです。しかし、プラスチックなどによる環境への影響を学ぶなかで、県内の実態についてもっと知りたいと考えるよう

## レポート

新日本婦人の会富山県本部長 広瀬妙子

になりました。県本部ではしんぶんタイム、紙芝居やDVDなどを駆使してカフェを開き、プラスチック問題について学習し、話し合ってきました。富山支部呉羽班は、昨年11月、六渡寺海岸の清掃活動を続けています。境信誓さんを講師に、「プラスチックごみの行方」と題して学習会を開きました。そこで、富山県内の海岸漂着ごみの8割が県内からのもので、その

うち人工ごみの多くがプラスチックや発泡スチロールであること(県の調査で93%)、2本の河川が流れ込む六渡寺海岸の漂着ごみが他の海岸に比べて特に量が多いこと、集めることも処理もいかに大変なのかなど、初めて聞くことばかりで驚きでした。県本部では運動部会を開き、プラごみが県内でのように処理されているのか、リサイクル場や処理場などに出かけて調査しました。

春になって海岸清掃が再開され、6月に県生活協同組合連合会主催の「海岸クリーン作戦」に応募し、六渡寺海岸での「マイクロプラスチック調査」(環日本海環境協力センターによる指導)に参加することができました。

## たくさんのかプセルが

調査では、波打ち際から2〜4メートル離れた砂浜で20センチ四方の枠内で2・5センチの深さまで砂を取り、ふるいにかけ、ごみの中から小さなプラスチック片を分類しました(2面写真)。拾ったマイクロプラスチックのほとんどが、砂粒のように広がる白い球状カプセルでした。組になった2人で2時間ほどかけて拾い出すと茶色の粒もあり、それら

## プラスチックゼロの肥料を

<2面へ>



プラごみ問題の解決に向けとく宮城県農業高等学校の生徒たち。試作品の肥料で育てた稲の新しく出てきた穂を確認している(同校提供)



六渡寺海岸に広がる白い粒。県の7大川のうち小矢部川と庄川の2本が流れ込む六渡寺海岸は、増水時には草や流木など自然物が通常の2倍流れてくる

【年末年始の発行について】年内の最終号は12月18日号です。12月25日号は休刊となり、1月1日付新年号16頁(1月8日号と合併、4頁分は大会議案草案)は、12月20日の週に届きます。1月の通常号は15日号からです。

